

平成2年1月 日

第6回東京演奏会について(計画書)

総務
コンサートマスター 殿

私共は下記のとおり平成3年の1月に北大交響楽団として第6回
東京演奏会を開催したく、この件につき 役員会
演奏委員会 で話し合っ頂
けますようこの計画書を提出いたします。

第6回東京演奏会準備委員会(私設)
代表 久野 宏

意義・目的:

- 北海道というある意味で閉鎖された地域のフクを越えて道外に発表の機会をもつたい。
- 特に東京は銭々のような学生オーケストラも多く、お互いに刺激し合い、高め合うことができる。
- 川越先生の音楽を道外にも紹介したい。
- 違った対象に聴いてもらいたい。

11/30 札幌

2/10 札幌

演奏

20日 音数(予)

12月28日

1月4日

札幌での演奏会は知人・友人なども含めて常連客が多いが東京では、北海道のオーケストラはどんな演奏をするのだろうか、といった新鮮な興味をもって来てくれる人に聴かせられるのではないか。東京ではプロ・アマ共にオーケストラ同志の競争も激しく、耳の肥えた客も多い。さらに東京は北大OBが多く、北大の音楽を再び聴いてもらいたい。

日程: 平成3年1月11日(金) — 札幌発東京着、ゲネプロ
12日(土) — 本番
13日(日) — 現地解散

一年のうちで一番余裕がある、またオケの実力が一番あるのでこの時期しかないと判断した。また、我が団ではこれまでもおよそ5年に1回の割合で東京演奏会を開いており、来年丁度その5年目にもあたる。

曲決め } 早める
会場
交通
宣伝・販売
会計

会場： 昭和女子大学人見記念講堂

—— 前回も利用しており、そのときの評判もよく、音楽面で問題ない。都心にあつて交通便利。さらに大学間の貸借ということで金銭的にかなり安価。

交通： 飛行機（千歳 → 東京）

—— 列車や船に比べ時間的負担が少ない。回員の疲労も少ない。経済的にもJRと大差ない。（1万5千円程度）

※ 現地解散だが希望者には帰りの飛行機を手配する。

宿泊・練習： 国立オリンピック記念青少年センター

—— 練習場と宿泊所をかねる。経済的にも安い。

楽器運搬・貸借：

・ Vc. —— 飛行機 の座席に置く。座席はその分は確保する。

・ Tuba, 譜面台 —— 宅急便

・ Per, Bass —— 東京の大学に借りる。

※ 先発隊 —— JRで 1/10(木) 出発 - 1/11(金) 朝東京着 - トラックチャーター
(7~10人) —— Per, Bass 借りる —— オリンピックセンターで本隊合流

宣伝： 都内の大学オケ・都内の北大オケOB・東京エルム会などに知らせ、チラシ・ポスター・チケットを依頼し、プレイガイドなども利用する。

会計： 独立採算制をとる。交通・宿泊費などは積み立てをして自己負担する（一人あたり3万円程度）

その他： 曲目は我々は秋定曲を中心としたプログラムを考えているが、最終的には演奏委員会に一任する。

・ 予算はできるだけ早くたてるが、ついでに年間予算において資金を確保したい。

文責 第6回東京演奏会準備委員会

(仮) 東京演奏会 実行委員会

合委 5/2 (水) 4/23 (月) 6:30

- ・役員会の ~~話し~~ 人 機関
- ・役員会が忙しいので (東) は別の人達にやってもらう
- ・臨時委員会ということにする。
- ・決算までが任期 (ほぼ1年)

問題点

1. 金銭的 (片道3万円 9~12月まで4ヶ月分割徴収)

7800
4130000
28
228

2. 日程的

3. レベル < 卒演
1ヶ月間の維持

4. 団員の意識

5. 音教 (1200頃)

2/11

6. グリコン